

- P1 環境学習講座レポート
平成23年度移動環境学習教室、
エコっこスクール 2011 山と植物と環境
- P2 環境学習指導者紹介、ミニ情報
環境学習推進センターからのお知らせ
イベント案内



環境学習講座レポート

センター主催講座!

☆平成23年度 移動環境学習教室



10月25日(火)に光市立三輪小学校(3、4年生 27人)、11月25日(金)に岩国市立美和東小学校(4年生 26人)の子どもたちが1日移動環境学習教室に参加しました。



午前中、セミナーパークの研修室で、DVD(そらとべあ)を見ながら、地球温暖化について学び、地球温暖化を防ぐため、自分達でできる取組について考えました。

その後、ふれあいゾーンへ移動し、環境クイズラリーを行いました。約1km のコースをみんな元気いっぱい駆け足で回っていましたが、研修室で学んだことをふまえて、クイズには楽々と回答していたようです。

午後からはきらら浜自然観察公園で、たくさん飛来している冬鳥を観察しました。カモ類やシギ類、カモメ、オオバンなど、日頃見られない渡

り鳥を双眼鏡で一生懸命探し、「おった、おった」と見つけて大喜び。特に大型鳥のミサゴが上空で池の中の魚を見つけ、一気に落下して捕獲する光景に「わあー」と皆びっくり! 更に杭の上で魚を食べるミサゴにくぎ付けで大興奮でした。帰ったら学校や家の周辺の鳥の観察をしたいとの感想でした。



環境クイズラリーに挑戦!



全問正解できるかな?!



どんな鳥がいるかな?



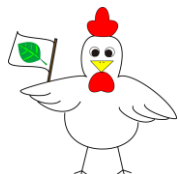
ライブカメラで観察したよ

☆いきいき環境塾エコっこスクール2011

<体験型第1回>

11月12日(土)

14人参加



「山と植物と環境」と題し、セミナーパークにおいて、1日体験型講座を実施しました。樹木医さんから、樹木医の仕事、樹木の役割や葉っぱの構造や形について、実際に葉っぱを触り、形ごとに分類しながら、詳しく教わりました。



分葉葉



午後からはふれあいゾーンで、葉っぱによる「樹木の名前さがし」をしながら、樹木などを観察しました。ふれあいゾーンにはたくさんの樹木があり、子どもたちは自然とふれあいながら、葉っぱの形に興味を持ち、樹木にたくさんの種類があることを知ることができたようです。



セミナーパークの葉っぱたち

光の団体さんのアイデアをいただき、セミナーパークにある樹木の葉っぱを押し花にして、しおりを作ってみました。この時期の落ち葉はカラフルでとてもきれいです。参加賞にしたらとても喜ばれました!!



モミジパフウ



ケヤキ



クスノキ





環境学習指導者をご紹介します！

H23 年度「環境学習指導者バンク」に登録されている指導者の方から、活動を通して思うことなどをお寄せいただきました。

環境アドバイザー 樋口 章子さん

「教えていただきながら」

消費者問題に関わって約30年、生活者の問題は全て消費者問題だと捉えて活動してきました。環境問題もその中の一環として、消費者の行動が世の中を動かす原動力だと思っており、常に生活者の視点を忘れずに活動していきたいと思っています。

さて、環境アドバイザーとして講師の声がかかると、どんな話題にしようか、小道具は持っていこうか、などと色々場面を想像しながら出かけます。自分が予定した場面で想像通りの反応が出れば良いのですが、意外な場面で反応が出ると驚き、逆に教えてもらっていると思うことがあります。例えば、デジタル世代の高校生がアナログの手動式電気起こしで明かりをつけるのに列ができるほど並んだり、「北極の氷の上でシロクマが漂流している姿を初めて見た！」など、きっとこのくらいは知っているだろう、子どもだましで興味がないかもしれないなど、思い込んでいたことに反省しつつ、次回にこうした反応を活かしていきたいと思っています。



ミニ情報

紅葉のメカニズム



今年は例年より気温が高いせいで、紅葉が遅れていました。セミナーパークのモミジも真っ赤になるのが遅かったように思いますが、そもそも紅葉ってどのようにして起こるのでしょうか？

葉は光合成により栄養をつくり、表面から水分を蒸発させることで根からの水分の吸収を促し、体内の水分を循環させています。日が短くなり、気温も下がってくると、葉柄の付け根に「離層(りそう)」という水分を通しにくい仕切りができ、葉と木の間で養分が循環なくなると、葉の成分が変わり、葉の色に変化が生じます。これが紅葉のメカニズムです。

葉の中には、クロロフィルという緑色の色素とカロテノイドという黄色の色素があります。葉で養分をつくる必要がなくなると、クロロフィルが分解されていき、葉には光合成で作られた糖分やデンプンが蓄積されます。イロハモミジなどは葉に残った糖分が化学変化してアントシアンを作るので赤くなります。イチヨウは糖分が幹のほうに吸収されてしまうので赤くならず、黄色の色素だけが残るので黄色になるのです。クヌギやケヤキなどは褐色になりますが、これはタンニンの働きによるものだそうです。



環境学習推進センターからのお知らせ

○環境学習教材の貸出、ご相談に応じます！

地域や学校、会社等での環境学習などに活用していただくために、環境に関する図書やビデオ等の教材を無料で貸し出しています。個人でもOK。現在、図書 418 冊、ビデオ・DVD 等 281 本、紙芝居 7 話、環境啓発パネル 12 種類。その他、環境学習会で使える教材(プログラム)もありますのでご相談ください。

エコかるたもあるよ！



○セミナーパークで環境学習を！

自然ふれあいゾーンにある「環境クイズラリー」を楽しみながら、樹木の名前と役割を学ぶように、コース周辺の樹木に樹木名ラベルを設置しました。全部で155種類の樹木があります。是非ご活用ください。学習会のご相談受付中です♪



平成23年度 環境学習講演会 「私たちが選ぶ暮らし・環境・エネルギー」

講師 東嶋 和子氏 (科学ジャーナリスト・筑波大学非常勤講師)

日時 平成24年1月29日(日) 13:30~15:00 開場 13:00

場所 山口県セミナーパーク 研修室102

定員 90 人 (先着順で定員になり次第、締切とさせていただきます。)

こども自然共生活動推進プログラム 平成23年度 体験発表会

日時 平成24年3月11日(日)

10:00~15:00(予定)

場所 山口県セミナーパーク 研修室

☆午後は講演会を行います。

☆お問い合わせ & 申込 : 環境学習推進センター TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720

<編集後記> 寒さにヒジョ〜に弱い私。冬の節電をがんばるために、山口市の「節電コンテスト」にチャレンジしようと思います。12月から3月までで前年同月比 10%以上節電できたらエコグッズがもらえるかも！？無理せずがんばるぞ！！今年もみなさん大変お世話になりました。来年は人間も動物もみんな幸せに過ごせますように。(あ)



発行元 (財)山口県ひとづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター
〒754-0893 山口市秋穂二島1062 (山口県セミナーパーク内)
TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720
URL <http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>

